

5/26 五九

岸田文雄曾相は23日の日米首脳会談で、相手国の「ミサイル発射拘束」などを破壊する「敵基地攻撃」能力の保有について、バイデン大統領と検討を約束しました。岸田政権は、安保法制に基づく集団的自衛権行使の際にも敵基地攻撃を示しています。日本が攻撃されれば、その相手国を自衛隊が攻撃できるものですが、バイデン氏は会談後の記者会見で、「戦事を始めれば、米軍が戦事を始めれば、その相手国を自衛隊が攻撃できる」といっています。